

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
I-1- (2)-⑤ 子どもの特性 を伸ばす教育 の充実	1	④ ⑪	博物館セカン ドスクール事 業	自然 史・ 歴史 博物館普 及課	博物館を第二の 学校と位置づけ、 修学旅行・社会見 学など学校教育の 一環として、子ど もたちの博物館利 用の促進を図るも のである。	学校団体誘致数	目標	1,000 団体	1,000 団体	1,000 団体	1,000団 体以上 (毎年 度)	継続	1,339	1,202	減額	16,075	順調	積極的な誘致活動を実施した結果、来館した学校団体数・入館者数ともに目標に近づけることができた。今後も来館実績をもとにした誘致活動を継続して行う。また、新規団体の誘致を実施し、子どもの来館機会を創出し学習活動の充実を図る。	順調	誘致活動を継続し子どもの来館機会を創出する。そのことで、子どもの知的好奇心や学習意欲を喚起し、学校教育の充実に寄与する。また、文学館については、引き続き展示や企画展等の充実、周辺施設との連携などにより、来館者やリピーターの増加を図る。
							実績	947 団体												
達成率	94.7 %																			
I-1- (2)-⑤ 子どもの特性 を伸ばす教育 の充実	2	④ ⑪	文学館普及研 究費	文学 館	北九州市ゆかり の文学者の業績を 企画展等で紹介す るとともに、本市 の文芸の振興に功 績のあった文学者 を市内外に発信す る。	入館者数	目標	7,500 人	30,000 人	30,000 人	30,000 人 (R3年 度)	継続	26,821	18,671	減額	30,950	大変 順調	リニューアルした常設展示やより多くの市民が興味を持つ企画展の開催により、若年層などの入館者の増加を図り、市民が文学に接する機会を提供していく。	順調	
							実績	20,896 人												
達成率	278.6 %																			
I-1- (3)-② 家庭教育支援 の充実	3	③ ④ ⑪ ⑪	家庭・地域・ 学校パート ナーシップ事 業	生涯 学習 課	家庭教育学級や 子育てサポーター などの活動を通じ て、保護者の不安 を軽減するため、 関係機関や関係部 局と連携しながら、 情報提供、啓 発活動を行い、保 護者が家庭教育に ついて学ぶ機会 の充実、子どもの 基本的生活習慣定 着への理解を促す ための情報提供、 啓発活動を進める。	家庭教育学級長 向けアンケート 満足度	目標	65 %	85 %	85 %	85% (毎年 度)	継続	5,925	4,895	減額	9,150	順調	子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化している中で、家庭教育を充実していくため、今後の家庭教育学級のあり方について関係団体等と協議していく。また、家庭教育学級に参加できない保護者への取組みとして、引き続き、家庭教育力の向上や子育て支援につながる動画等をインターネットで発信し、情報提供を行う。	順調	引き続き、家庭教育・子育てネットワークの充実を図る。また、今後の家庭教育学級のあり方について関係団体等と協議していく。課題である家庭教育学級に参加できない保護者への取組みとして、引き続き、家庭教育力の向上や子育て支援につながる動画等をインターネットで発信し、情報提供を行う。
							実績	57.3 %												
							達成率	88.2 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
I-1- (3)-③ 地域全体が教育を支える社会の実現	4	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	生涯学習課	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。	家庭教育学級長向けアンケート満足度	—	目標 65 %	85 %	85 %	85% (毎年度)	継続	5,925	4,895	減額	9,150	順調	核家族化や共働き世帯の増加、地域のつながり等、子どもを取り巻く環境が大きく変化しているため、市民センターが核となって、家庭・学校・地域が連携する仕組みを構築し、家庭教育支援を充実させる。	順調	子どもや家庭を取り巻く環境の変化に対応し、地域から子育て世帯へ寄り添う姿勢を示すことで、子育て家庭が抱える悩みや問題を解消できるきっかけを提供していく。
						実績	57.3 %													
						達成率	88.2 %													
I-3- (1)-① 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	5	③ ④ ⑤ ⑪ ⑬ ⑯ ⑰	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。 また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	生涯学習市民講座参加者数 ※中期目標改訂	93,589人 (H25年度)	目標 110,000人	110,000人	前年度以上	前年度以上 (毎年)	継続	13,574	13,516	維持	6,900	順調	生涯学習市民講座が、より地域の特色を生かした講座、地域課題解決に向けた講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、多くの方に多様な学習機会を提供していく。  【中期目標の変更内容】 指標① 人口減少が進む中ではあるが、実施内容等を工夫しながら、参加者が増えるよう取り組む。 指標② 令和3年度開始の次期生涯学習推進計画の指標を引用する。	順調	より地域の状況に応じた、地域の課題解決につながるような講座を提供できるよう、市民センター館長研修の充実を含め、工夫していく。 館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて、生涯学習推進コーディネーターの配置の意義・効果を周知するとともに、具体的な人材の見つけ方などを指導し、生涯学習推進コーディネーターの配置割合の増加に向け取り組んでいく。
						※中期目標改訂														
						達成率	113.4 %													
						生涯学習活動に関する満足度 ※中期目標改訂	96.3% (H25年度)	目標 90 %	90 %	95 %										
						実績	88.5 %													
						達成率	98.3 %													
生涯学習推進コーディネーター配置事業	6	④ ⑪ ⑰	生涯学習推進コーディネーター配置事業	生涯学習課	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置割合 ※中期目標改訂	56.2% (H25年度)	目標 80 %	85 %	60 %	60% (毎年度)	継続	7,316	6,969	維持	3,650	やや遅れ	生涯学習推進コーディネーターの配置については、館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて配置の意義・効果に加え人材の見つけ方等を周知し、配置割合の増加に向け取り組む。  【中期目標の変更内容】 過去5年間の配置状況を考慮し、現状に即した指標に変更した。	順調	
						実績	45.4 %													
						達成率	56.8 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
I-3-(2)-① 地域活動を リードする人材の育成	7	④ ⑪ ⑰	北九州市民カ レッジ事業	管理運 営課	市民の多様な学 習ニーズに対応した生涯学習機会を 提供し、自己実現の促進および「循 環型生涯学習社会」を担う人材の 育成を図る。 北九州市民カ レッジの講座は、 生涯学習総合セン ター主催コース(ま ちづくり・人材育 成系、総合・教養 系の2コース)と高 等教育機関提携 コースを前期・後 期の2期で実施。	受講者数 ※中期目標改訂	1,435人 (H28年 度)	目標 1,470 人 実績 1,627 人 達成率 110.7 %	1,500 人	1,530 人	1,700人 (毎年 度)	継続	5,119	4,710	減額	20,700	順調	厳しい予算状況の中、事業 の質を確保しながら、多様化 する課題の把握に努めるとと もに、高等教育機関等との連 携をさらに進めていく。  【中期目標の変更内容】 受講者数の目標値は前年度 比30人増としていたが、平成 30年度に過去最高の1,682人 に達したため、指標の記載方 法を毎年度に変更し、1,700 人とする。		
	8	③ ④ ⑤ ⑪ ⑬ ⑰	生涯学習活動 促進事業	生涯学 習課	各市民センター 等で、地域課題や 現代的課題等の解 決を目指す講座、 心と体の健康づく りを目指す講座な ど幅広い分野にわ たる講座を実施す る。 また、それぞ れの地域の特色を生 かし、家庭・地 域・学校が連携し て、子どもたちに 様々な体験活動や 世代間交流の機会 を提供し、地域ぐ るみで子どもを見 守り育てる意識を 高め、地域全体で 子どもの健全育成 に取り組む機運を 醸成する。	生涯学習市民講 座参加者数 ※中期目標改訂	93,589 人 (H25年 度)	目標 110,000 人 実績 124,765 人 達成率 113.4 %	110,000 人	110,000 人	前年度 以上 (毎年)	継続	13,574	13,516	維持	6,900	順調	生涯学習市民講座が、より 地域の特色を生かした講座、 地域課題解決に向けた講座と なるよう市民センター館長研 修の充実を図り、多くの方に 多様な学習機会を提供してい く。  【中期目標の変更内容】 指標① 人口減少が進む中ではある が、実施内容等を工夫しなが ら、参加者が増えるよう取り 組む。 指標② 令和3年度開始の次期生涯 学習推進計画の指標を引用す る。	順調	市民の多様な学習ニーズに 対応したカリキュラムを構築 するとともに、地域課題への 解決策となるような講座を増 やしていくことで、地域に根 付いた継続的な人づくりの機 会を提供していく。
	9	④ ⑪ ⑰	地域課題解決 のための人材 活用支援事業	生涯学 習課	地域が主体的に 地域課題を解決す ることができるよう、地域人材の発 掘～育成～活動ま でを体系的に支援 し、地域力アップ につなげる仕組み をつくる。学んだ 成果を地域に活か す講座の開催、地 域活動をリードす る人材育成事業 (市民センター館 長等研修など)及 び多様な機関との 連携強化を実施す る。	「地域活動を リードする人材 やボランティア 活動に取り組む人 材が増加してい ると感じる」に 肯定的な回答を した割合 ※中期目標改訂	37.6% (H27年 度)	目標 58 % 実績 30.6 % 達成率 52.8 %	60 %	35 %	50% (R7年 度)	継続	901	617	減額	5,400	やや 遅れ	地域課題の解決に向け、学 びと活動が循環する仕組みづ くりや、研修等の実施により 人材の発掘・育成に取り組ん でいく。  【中期目標の変更内容】 令和3年度開始の次期生涯 学習推進計画の指標を引用す る。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度		R2年度										R3年度		中期 目標	
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	10	④ ⑪	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数 (累計) ※指標廃止	目標	120	法人	135	法人	135法人 (R2年度)	96.7 %	縮小	20,176	17,709	減額	19,725	順調	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)  予算については人件費の削減により減額となったが、市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会を引き続き実施するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)  市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。	
							実績	116	法人														
							達成率																
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	10	④ ⑪	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数 ※指標追加	目標				15	法人	15法人 (毎年度)	縮小	20,176	17,709	減額	19,725	順調	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)  【中期目標の変更内容】 サポートセンター利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響によるフリースペースの利用停止等の状況を踏まえ、目標数値を縮小する。	順調	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)  市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。	
							実績																
							達成率																
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	10	④ ⑪	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	サポートセンター利用者数 ※中期目標改訂	目標	25,000	人	25,000	人	20,000	人	20,000人 (毎年度)	縮小	20,176	17,709	減額	19,725	順調	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)  【指標廃止・追加の理由】 新規設立NPO法人数については、指標の記載方法を累計から毎年度に変更する。	順調	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)  市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。
							実績	29,293	人														
							達成率	117.2	%														
II-1-(1)-② 市民の消費生活の安定と向上	11	④	消費者啓発の推進	消費生活センター	悪質化・巧妙化する消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等、消費者自身が危機回避や被害にあった場合の適切な対処法を身に付けるための各種事業を実施するなど、啓発の推進や支援を行う。	消費生活センターの認知度	目標	90	%	90	%	90	%	90%以上 (毎年度)	継続	15,520	11,850	減額	8,075	順調	今後効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知に加え、成年年齢引き下げに伴う若者や高齢者を支える人々への啓発も強化し、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。	順調	今後効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。
							実績	94.1	%														
							達成率	104.6	%														
						消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	目標	90	%	90	%	90	%	90%以上 (毎年度)	継続	15,520	11,850	減額	8,075	順調	今後効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知に加え、成年年齢引き下げに伴う若者や高齢者を支える人々への啓発も強化し、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。	順調	今後効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。
							実績	94.5	%														
							達成率	105.0	%														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
II-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に 関わる施策の推進	12	⑩	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり 関連事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活発化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	防犯パトロール活動への参加者数	14,170人 (H27年度)	目標 20,000人	前年度比増	前年度比増	継続	7,339	6,747	減額	15,900	大変 順調	引き続き、地域の自主防犯活動を支援していくほか、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察や市へ連絡する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事務所の窓から子ども達を見守る「窓から見守り」を推奨することで、地域の見守りの目を増やし、犯罪の抑止力を高めていく。 また、安全・安心なまち北九州を市内外に情報発信し、都市イメージの向上を図る。  【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。		引き続き、地域の自主防犯活動を支援していくほか、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察や市へ連絡する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事務所の窓から子ども達を見守る「窓から見守り」を推奨することで、地域の見守りの目を増やし、犯罪の抑止力を高めていく。 また、安全・安心なまち北九州を市内外に情報発信し、都市イメージの向上を図る。  【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。	
						※中期目標改訂	実績 38,225人	達成率 191.1%	前年度比増 (毎年度)	前年度比増										前年度比増 (毎年度)
						市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標 前年度(85.2%)比増	前年度比増	前年度比増										前年度比増 (毎年度)
II-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に 関わる施策の推進	13	⑩	子どもと女性の犯罪被害防止対策事業	安全・安心推進課	子どもや女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	35校 (H25年度)	目標 125校	155校	185校	継続	3,087	3,087	維持	15,900	順調	引き続き、「地域安全マップづくり」を市内7校で実施し、児童の防犯知識の向上を図るとともに、年1校程度、マップづくりで危険と判断された場所（落書き等）を地域住民や学校等と連携して改善することで、防犯意識の醸成を図る。 また、防犯の専門家による防犯セミナーを「子ども」、「保護者・教員」、「女性」を対象に開催し、各々の防犯意識等の向上を図る。  【中期目標の変更内容】 令和2年度の単年度目標となっていたため、変更した。	順調	引き続き、「地域安全マップづくり」を市内7校で実施し、児童の防犯知識の向上を図るとともに、年1校程度、マップづくりで危険と判断された場所（落書き等）を地域住民や学校等と連携して改善することで、防犯意識の醸成を図る。 また、防犯の専門家による防犯セミナーを「子ども」、「保護者・教員」、「女性」を対象に開催し、各々の防犯意識等の向上を図る。  【中期目標の変更内容】 令和2年度の単年度目標となっていたため、変更した。	
						※中期目標改訂	実績 136校	達成率 108.8%	前年件数減 (82件)	前年件数減										前年件数減 (毎年)
						性犯罪認知件数	104件 (H25年)	目標 前年件数(82件)減	前年件数減	前年件数減										74件
II-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に 関わる施策の推進	14	⑩	安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心相談センター	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	22% (H27年度)	目標 前年度比増(27.7%)	前年度比増	前年度比増	継続	18,838	19,575	維持	15,900	大変 順調	市民が気軽に相談できる体制を引き続き整える。		市民が気軽に相談できる体制を引き続き整える。	
						※中期目標改訂	実績 33.6%	達成率 121.3%	前年度比増 (毎年度)											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-1-(3)-② 防犯活動の強化	15	⑤ ⑪	地域防犯対策 事業	安全・安心 推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	6,612件 (H25年)	目標	前年 (2,727件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減	継続	28,749	24,734	減額	15,900	順調	生活安全パトロール隊の多くが結成から10年を経過しており、メンバーの高齢化・固定化が進んでいることから、パトランキタキュー等の防犯活動団体と連携を促進することによって、地域の犯罪抑止力の強化を図る。	順調	整備した防犯灯及び防犯カメラの適正な維持管理・運用を行う。また、新たな防犯カメラの設置を適正に行っていく。
								実績	2,498 件												
					市民が感じる治安状況（体感治安） ※中期目標改訂	73.7% (H27年度)	目標	90 %	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	102,743	89,287	減額	3,435	順調	【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。	順調	引き続き、防犯灯のLED化を推進しながら、地域への補助等を実施する。	
実績	86.1 %						達成率	95.7 %													
			防犯灯設置事業	安全・安心 都市整備課	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置。防犯灯の設置にあたっては、LED防犯灯の設置促進を図り、町内会等の地域の防犯灯の設置のため費用の一部を助成し、明るく安心して生活できるまちづくりを推進。	刑法犯認知件数 ※中期目標改訂	9,682件 (H27年)	目標	8,000 件	前年度比減	前年度比減	前年度比減 (毎年度)	継続	102,743	89,287	減額	3,435	順調	【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。	順調	引き続き、防犯灯のLED化を推進しながら、地域への補助等を実施する。
実績	6,127 件									達成率	123.4 %										
					市民が感じる治安状況（体感治安） ※中期目標改訂	73.7% (H27年度)	目標	90 %	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	102,743	89,287	減額	3,435	順調	【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。	順調	引き続き、防犯灯のLED化を推進しながら、地域への補助等を実施する。	
実績	86.1 %						達成率	95.7 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
17	⑩		防犯カメラ事業	安全・安心都市整備課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理を行う。 更に、近年開発が進む駅周辺などに新たに防犯カメラを設置し、適切な維持管理を行う。	市民が感じる治安状況（体感治安） ※中期目標改訂	73.7% (H27年度)	目標 90 %	前年度比増	前年度比増	拡大	46,611	46,417	維持	3,435	順調	市の主要駅周辺などに新たに防犯カメラを設置するとともに、既設置の防犯カメラの保守・点検を適切に行うことにより、安定した運用を行う。  【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。			
						実績	86.1 %			前年度比増 (毎年度)										
						達成率	95.7 %													
						刑法犯認知件数 ※中期目標改訂	9,682件 (H27年)	目標 8,000 件	前年度比減	前年度比減										前年度比減 (毎年度)
						実績	6,127 件													
						達成率	123.4 %													
18	⑩		防犯カメラ設置補助事業	安全・安心都市整備課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置する際の経費の一部を補助することで、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取り組みを推進する。	刑法犯認知件数 ※中期目標改訂	9,682件 (H27年)	目標 8,000 件	前年度比減	前年度比減	継続	12,650	13,630	増額	3,435	順調	防犯カメラ設置補助制度を継続するにあたり、申請実績に応じた予算を確保し、地域の防犯活動の十分な支援を行う。  【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計画が策定されたため、計画に基づく目標に修正した。			
						実績	6,127 件			前年度比減 (毎年度)										
						達成率	123.4 %													
						市民が感じる治安状況（体感治安） ※中期目標改訂	73.7% (H27年度)	目標 90 %	前年度比増	前年度比増										前年度比増 (毎年度)
						実績	86.1 %													
						達成率	95.7 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	19	①	暴力追放の推進	安全・安心相談センター	社会全体で暴力団を排除する取り組みを推進するため、事業者・市民の暴排意識を高める市民暴力追放総決起大会や暴力追放強調月間による集中的な啓発活動などを実施し、官民一体となって取り組む。	目標		前年度比増 (79.0%)	前年度比増	前年度比増	継続	12,599	13,392	増額	12,850	順調	警察・行政・市民とが連携・協力し、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えるとともに、暴力追放に対する市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、警察などの関係機関と連携した暴追活動を引き続き行う。	順調	警察や市民との連携した安全で安心なまちづくりを促進するとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民が気軽に相談できる体制を整える。		
						実績	48% (H25年度)	80.5 %												前年度比増 (毎年度)	
						達成率		101.9 %													
						目標		80 %以上	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし										R1年度比増 (R3年度)	
						実績	55.8% (H25年度)	77.7 %													
						達成率		97.1 %													
	20	①		民事介入暴力相談事業	安全・安心相談センター	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図るため、民事介入暴力相談を実施。	目標		前年度比増 (79.0%)	前年度比増	前年度比増	継続	16,365	5,116	減額	4,300	順調	相談体制を見直し、より効果的で効果的な運用を図る。	順調	警察や市民との連携した安全で安心なまちづくりを促進するとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民が気軽に相談できる体制を整える。	
							実績	48% (H25年度)	80.5 %												前年度比増 (毎年度)
							達成率		101.9 %												
							目標		80 %以上	単年度目標 設定なし	前年度比増										R1年度比増 (R3年度)
							実績	55.8% (H25年度)	77.7 %												
							達成率		97.1 %												



【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	21	③	交通安全推進事業	安全・安心都市整備課	第9次北九州市交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数(警察統計のため暦年でカウント) ※中期目標改訂	目標	前年(6,649件)比減	7,300件以下	第10次北九州市交通安全計画にて決定	第10次北九州市交通安全計画にて決定	継続	15,510	12,432	減額	9,800	大変順調	引き続き、市民に広く交通安全教育や効果的な広報啓発活動を行い、交通事故防止を図る。また、令和2年度に引き続き、高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を図るため、運転免許証自主返納の取組を強化する。  【中期目標の変更内容】 令和3年度に策定する第10次北九州市交通安全計画にて決定する。	順調	引き続き交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う	
							実績	8,325件(H26年)	5,542件												
							達成率		116.6%												
						目標	前年(28人)比減	19人以下	第10次北九州市交通安全計画にて決定	第10次北九州市交通安全計画にて決定	継続	27,881	27,881	維持	3,650	順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。  【中期目標の変更内容】 令和3年度に策定する第10次北九州市交通安全計画にて決定する。				
実績	23人(H26年)	19人																			
達成率		132.1%																			
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	22	③	交通安全センター管理運営	安全・安心都市整備課	北九州市立交通安全センターを管理するとともに、交通安全教室等を開催し、自転車の安全運転や、交通ルール・マナーの徹底を図る。	交通事故の発生件数(警察統計のため暦年でカウント) ※中期目標改訂	目標	前年(6,649件)比減	7,300件以下	第10次北九州市交通安全計画にて決定	第10次北九州市交通安全計画にて決定	継続	27,881	27,881	維持	3,650	順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。  【中期目標の変更内容】 令和3年度に策定する第10次北九州市交通安全計画にて決定する。	順調	引き続き交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う	
							実績	8,325件(H26年)	5,542件												
							達成率		116.6%												
						目標	前年(701件)比減	前年比減	前年比減	前年比減(毎年)	継続	27,881	27,881	維持	3,650	順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。  【中期目標の変更内容】 令和3年度に策定する第10次北九州市交通安全計画にて決定する。				
実績	972件(H26年)	622件																			
達成率		111.3%																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
II-1-(3)-⑤ 非行や 犯罪を 生まな い地域 づくり	23	⑤ ⑪	地域防犯対策 事業	安全・ 安心推 進課	北九州市安全・ 安心条例では、 「市民等は安全・ 安心に関する意識 を自ら高め、行動 すること」「市及 び市民等は相互に 連携を深め、防犯 活動を協力して推 進すること」と定 められている。こ の事業では、市民 の防犯意識を高 め、地域住民の自 主防犯活動を促進 し、安全・安心を 実感できるまちの 実現を図る。	街頭犯罪件数	6,612件 (H25年)	目標 前年 (2,727 件) 比減	前年比減	前年比減	継続	28,749	24,734	減額	15,900	順調	生活安全パトロール隊の多 くが結成から10年を経過して おり、メンバーの高齢化・固 定化が進んでいることから、 パトランキタキュー等の防犯 活動団体と連携を促進するこ とによって、地域の犯罪抑止 力の強化を図る。  【中期目標の変更内容】 令和2年度に第二次行動計 画が策定されたため、計画に 基づく目標に修正した。	順調	犯罪認知件数の減少に体感 治安が伴うよう、引き続き安 全・安心に関する情報や取組 を効果的に市内外に発信して いく。
							実績 2,498 件			前年比 減									
							達成率 108.4 %												
						市民が感じる治 安状況 (体感治安) ※中期目標改訂	73.7% (H27年 度)	目標 90 %	前年度比増	前年度比増									
		実績 86.1 %																	
						達成率 95.7 %													
II-3-(4)-① 平和の 尊さへ の理解 の促進	24	⑩	戦時資料展示 コーナー管理 運営事業	地域 振興課	市民から寄贈が あった戦時下の資 料を保管、展示す ることにより、北 九州市立埋蔵文化 財センター内に開 設した戦時資料展 示コーナーにおい て、戦争がもたら した惨禍と平和の 尊さを多くの市民 に理解してもら う。	戦時資料展示 コーナー見学者 数	3,647人 (H22年 度)	目標 4,000 人	4,000 人	4,000 人	継続	1,373	1,361	維持	1,220	順調	多くの方に来館していただ くため、チラシの配布を進 め、広報の強化に努める。	順調	戦争がもたらした惨禍と平 和の尊さを多くの市民に理解 してもらうため、広報活動を 通じて、戦時資料展示コー ナーの周知に一層力を入れて いく。また、広報活動を通じ て、見学者数の増加に繋げて いく。
							実績 3,812 人			4,000人 (毎 年 度)									
							達成率 95.3 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
Ⅲ-1-(1)-④ 市民のモラル・マナーの向上	25	⑪	モラル・マナーアップ関連条例推進事業	安全・安心都市整備課	<p>条例や基本計画に基づき下記事業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉・黒崎地区（迷惑行為防止重点地区）での巡視活動（過料の適用）</li> <li>・地域が実施する迷惑行為防止活動に対する支援</li> <li>・小学生を対象としたモラル・マナーアップ教育</li> <li>・モラル・マナーアップに関する広報啓発</li> </ul>	迷惑行為防止に係る地域活動団体の増加	82団体 (H26年度)	<p>目標</p> <p>前年度（98団体）比増</p>	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	18,127	15,827	減額	6,150	順調	引き続き、条例や基本計画に基づき、地域活動団体への支援や啓発活動等を実施し、モラル・マナーアップの推進に努める。 令和3年度は更なるコストダウンに努め、より効率的に事業を実施することとした。	順調	モラル・マナーアップ推進のため、広報活動などを行い、条例や基本計画の認知度を向上させる。
						路上喫煙率（歩行者に占める喫煙者の割合）	小倉 0.17% 黒崎 0.24% (H26年度)	<p>目標</p> <p>前年度（小倉0.11% 黒崎0.23%）以下</p>	前年度以下	前年度以下										
Ⅲ-2-(1)-② 地域における伝統文化の発掘・継承	26	⑪	文化財保存補助	文化企画課	<p>伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。</p>	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体 (H26年度)	<p>目標</p> <p>17 団体</p>	17 団体	17 団体	17団体 (毎年度)	継続	1,127	1,127	維持	11,050	順調	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	順調	市内の指定文化財について、その保存・継承と普及・啓発を支援するため、相談体制の維持と活動に関する補助金を交付している。 引き続き、優先順位をつけながら文化財の保存・活用に努める。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い 文化芸術の振興	27	④ ⑪	芸術文化活性化事業	文化企画課	【劇場・自主事業】 エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。	北九州芸術劇場・自主事業入場率	95% (H21年度)	目標	87 %	87 %	87 %	87% (R5年度)	継続	107,668	107,668	維持	3,550	順調	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供するため、民間プロダクションとの提携や全国の劇場やホールとの連携（共同制作）等、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努める。	順調	今後とも発信力が高く、まちの魅力づくりにつながる事業の実施を目指し、事業内容を検討し、効率性や収支の観点も加えながら、事業規模を維持していく。 また、映像制作誘致強化関連事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を行った上で、引き続きアジアを中心とする映画作品の誘致などに積極的に取り組み、「映画の街・北九州」という都市ブランドを国内外に広く発信していく。
					実績			90 %													
達成率	103.4 %																				
					【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を生かした質の高いコンサートや響ホールを拠点として地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。また、響ホールからの発信を意識した、オリジナリティのある演奏会を実施。	響ホール事業・響ホール自主事業入場率	56% (H21年度)	目標	65 %	65 %	65 %	65% (R5年度)	継続	107,668	107,668	維持	3,550	順調	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供するため、民間プロダクションとの提携や全国の劇場やホールとの連携（共同制作）等、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努める。	順調	今後とも発信力が高く、まちの魅力づくりにつながる事業の実施を目指し、事業内容を検討し、効率性や収支の観点も加えながら、事業規模を維持していく。 また、映像制作誘致強化関連事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を行った上で、引き続きアジアを中心とする映画作品の誘致などに積極的に取り組み、「映画の街・北九州」という都市ブランドを国内外に広く発信していく。
実績	80.3 %																				
達成率	123.5 %																				
28	④ ⑪	北九州国際音楽祭	文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、令和3年度で34回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州市国際音楽祭の満足度	83% (H21年度)	目標	85 %	85 %	85 %	85% (毎年度)	継続	90,000	40,000	減額	1,625	順調	東アジア文化都市北九州を記念し、邦楽の特別演奏会の開催や世界的ジャズアーティストの招聘等を通じて、市民に優れた文化芸術に触れる機会を提供し、本市の音楽文化の振興を図る。	順調	東アジア文化都市北九州を記念し、邦楽の特別演奏会の開催や世界的ジャズアーティストの招聘等を通じて、市民に優れた文化芸術に触れる機会を提供し、本市の音楽文化の振興を図る。	
実績	99 %																				
達成率	116.5 %																				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標			
29	⑧ ⑪		映像製作誘致 強化関連事業	文化 企画 課	映画・テレビド ラマ等のロケ地誘 致や撮影支援を積 極的に行い、本市 の知名度と都市イ メージの向上を図 る。 また、活動成果 の市民との共有 や、「映画の街・ 北九州」という都 市ブランドの発信 により、街のにぎ わいの創出や市民 交流等のまちづく りにつなげる。	地域経済への貢 献（直接経済効 果）	100,000 千円 (H21年 度)	目標 150,000 千円	実績 91,540 千円	達成率 61.0 %	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (R1年度 以降毎 年度)	継続	42,224	33,484	減額	47,100	順調	引き続き「新型コロナウ イルス感染予防対策ガイド ライン」を遵守する安全な撮影 を積極的に誘致し、国内外で 「映画の街・北九州」という 都市ブランドを維持、発展さ せることができるよう、映像 製作誘致強化関連事業に取り 組む。  【指標廃止・追加の理由】 認知度の実績は目標の85% を超えており、一定数の認知 度を得たことから、より具 体的にフィルムコミッション 事業を広めたいと思う市民の 割合を問うもの。		
						北九州フィル ム・コミッ ションの市民への認 知度	59.8% (H25年 度)	目標 85.0 %	実績 89.5 %	達成率 105.3 %	85.0% (R1年度 以降毎 年度)	※指標廃止											
						都市ブランド 「映画の街・北 九州」を広めたい と思う市民の 割合	—	目標 17.0 %	実績 —	達成率 —	17.0% (R3年度 以降毎 年度)		※指標追加										
30	⑧ ⑪		松永文庫企画 事業	文化 企画 課	映画・芸能資料 館「松永文庫」に おける企画展示・ イベント等の積極 的な開催を通じ て、映画文化の振 興、「映画の街・ 北九州」の情報発 信に取り組む。	年間来館者数	89,317 人 (H26年 度)	目標 10 万人	実績 8.1 万人	達成率 81.0 %	10 万人			10 万人	10 万人	10万人 (毎 年度)	継続	9,600	9,600	維持	4,900	順調	新しい生活様式に則した感 染予防対策を行いながら、安 全に配慮した企画展を行う。 また、YoutubeなどSNSを活 用した情報発信に力を入れる ことで松永文庫の認知度を高 め、集客数の増員を目指し、 より一層の「映画の街・北九 州」のブランド発信に取り組 む。

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標				
Ⅲ-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	31	④ ⑪	芸術文化育成 負担金・補助 金	文化 企画 課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標 15 事業	実績 15 事業	達成率 100.0 %	16 事業	16 事業	16 事業	16 事業	16 事業 (毎年度)	継続	42,850	42,850	維持	5,825	順調	東アジア文化都市北九州の実施にあたり、市内全体で開催機運を盛り上げるため、市民団体等が企画・実施する文化事業の一部を拡充する。	順調	助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後も継続して実施する。
	32	④ ⑪	北九州市文化 振興基金	文化 企画 課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (H21年度)	目標 25 件	実績 16 件	達成率 64.0 %	25 件	25 件	25 件	25 件	25件 (毎年度)	継続	9,811	9,800	維持	3,825	順調	市民の自主的な文化芸術活動を助成し、その内容がレベルアップするような効果的な支援を行うため、助成内容の見直しを適宜行っていく。また、ここ数年は運用益が大幅に減り、基金残高が減少しているため、寄附事業（北九州かるかるファンド）への寄附増額に向けてPRを強化する。	順調	
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	33	④	美術館企画展 充実事業	美術 館普 及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420 人 (H26年度)	目標 230,000 人	実績 203,789 人	達成率 88.6 %	240,000 人 (R3年度)	240,000 人	240,000 人	240,000 人	240,000 人 (R3年度)	継続	111,267	107,544	維持	36,750	順調	企画展・コレクション展を継続して実施する。分館については、民間が主催する魅力ある展覧会を誘致し、展覧会数は維持すると同時に予算縮減を図る。	順調	美術館については、コレクション展も含め、より積極的な企画を実施することで集客の増加につなげていく。 また、博物館については、コロナ禍において、来館者が安全・安心に観覧できるよう入場制限などの適切な3密防止対策を行いつつ、集客力のある夏季大規模特別展を中心に、時機を捉えた企画を特別展として開催し、メディア露出やタイアップの獲得を図り、集客につなげる。
						コレクション展の観覧者数	11,713 人 (H26年度)	目標 30,000 人	実績 20,620 人	達成率 68.7 %	30,000 人 (R3年度)	30,000 人	30,000 人	30,000 人	30,000 人 (R3年度)									
	34	④	博物館企画展・特別展 充実事業	自然・ 歴史・ 博物館 普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことにより、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。	博物館総入館者数	369,711 人 (H24年度)	目標 450,000 人	実績 452,863 人	達成率 100.6 %	450,000 人 (毎年度)	450,000 人	450,000 人	330,000 人	450,000 人 (毎年度)	継続	60,000	52,600	減額	74,600	順調	コロナ禍において、来館者が安全・安心に観覧できるよう入場制限などの適切な3密防止対策を行う必要があり、入館者数の目標を下方修正する。ただし、集客力のある夏季大規模特別展、東田地区ミュージアムパーク創造事業の一環として実施する東田地区連携事業、ART for SDGsとの連携など、時機を捉えた企画を特別展として開催し、メディア露出やタイアップの獲得を図り、集客につなげる。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標		
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術の担い手の育成	35	④	美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」	美術館普及課	市内の小学3年生を対象に、美術作品の鑑賞他体験型のプログラムを作成し、子どもたちに体験してもらうことでシビックプライドの醸成をはかる。	参加校の割合	14% (H29年度)	目標	100 %	100 %	100 %	100% (毎年度)	継続	29,879	29,214	維持	25,650	順調	引き続き、「初めての美術館体験」をコンセプトに、「美術作品の鑑賞」「建築の見学」「美術館からの市内眺望」の3つの体験を通じてシビックプライドの醸成をはかる。	順調	次世代の担い手の育成は非常に重要な課題であり、シビックプライドの醸成という観点からも、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大していくことが必要である。 今後も、学校・地域等における教育普及活動（アウトリーチ）やホール等の文化施設における体験活動等、子どもたちの文化・芸術に接する機会の充実に向けて、事業内容を検討していきたい。 また、引き続き、市民対象の公開事業や地域との連携、現代アートを紹介する場としてのCCA北九州の浸透に努めるとともに、街なかでの合唱コンサート等、市民が合唱に親しむことのできる機会の提供を行っていきたい。	
								実績	99 %													
								達成率	99.0 %													
36	④ ⑪		優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	文化企画課	将来の文化・芸術の担い手を育成し、本市の文化振興をさらに進めるとともに、シビックプライドの醸成につなげていくため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術との“出会い”の場・機会を創造していく。	教育普及事業への参加者数の増加 ※中期目標改訂	2,500人 (H27年度)	目標	3,000 人	3,000 人	2,100 人	2,100人 (毎年度)	縮小	7,206	6,757	減額	8,725	順調	放課後児童クラブ等、学校外における優れた文化・芸術との“出会い”の場の充実を図る。  【中期目標の変更内容】 事業費規模の縮小により、参加者数を3,000人から2,100人に変更する。			
								実績	3,449 人													
								達成率	115.0 %													
37	④ ⑪		現代美術センター・CCA北九州支援事業	文化企画課	CCA北九州は、現代美術の世界的な拠点のひとつとなることを目指して活動している研究・学習機関。国内外から集まる現代美術の若手アーティスト等の指導育成、招聘アーティストによる新作発表のための展覧会、国内外の第一線で活躍する学芸員による「キュレーターミーティング」を開催するとともに、CCA北九州のネットワークを活かして、その活動を広く市民に浸透させるための文化講座、子ども向けワークショップなどの事業を行っている。 これら事業を実施しているCCA北九州を支援するもの。	フェロウシッププログラムの受講者数	6人 (H23年度)	目標	5 人	5 人	5 人	5人 (R3年度)	継続	38,000	38,000	維持	8,150	順調	フェロウシップ・プログラムについては、一定レベルの受講生の確保を図り、引き続き充実したプログラムを実施する。 また、事業内容の見直しや経費削減等を進めつつ、地域との連携や市民対象の公開講座の実施を通じて、さらに市民へのCCA北九州の浸透、地域還元に努める。			
								実績	3 人													
								達成率	60.0 %													
								目標	1,800 人	1,800 人	1,800 人										1,800人 (R3年度)	
								実績	1,133 人													
								達成率	62.9 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
38	④		子どもノンフィクション文学賞	文学館	「ノンフィクション」というジャンルの作品を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、全国の小中学生を対象に創設した文学賞。	応募総数	570件 (H27年度)	目標 1,000 件	実績 684 件	達成率 68.4 %	1,000件 (R3年度)	継続	10,731	10,076	減額	5,400	順調	応募地域を広げ、全国規模の賞としてふさわしい応募数、内容となることを目指す。また、市内小中学校にも直接働きかけ、市内からの応募数獲得に努める。	
39	④		林芙美子文学賞	文学館	「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。 多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文学的土壌を全国に発信するとともに、これから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的に実施するもの。	「林芙美子文学賞」作品応募数	484件 (H29年度)	目標 500 件	実績 384 件	達成率 76.8 %	500件 (R3年度)	継続	11,630	11,022	減額	4,550	順調	応募者が作家として書き続けていくことのできる力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ちつきつつある。受賞者のその後の活躍も紹介するなど、広報の充実に努める。	
40	④ ⑪		「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課	市民の歌声があふれる「合唱の街・北九州」の実現に向けて、子どもたちからシニア世代まで幅広い年代の多くの市民が、合唱する側や聴いて楽しむ側として参加するまちづくりを進めていく。	合唱関連事業における歌い手としての参加者	682人 (H27年度)	目標 400 人	実績 359 人	達成率 89.8 %	250人 (毎年度)	継続	1,200	1,000	減額	7,150	順調	楽器を必要としない合唱は、誰もが参加しやすく、多世代が一緒に歌うことで世代間交流の促進という効果も期待される。今後も、市民が合唱に親しむことのできる機会の提供を図る。	



【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術によるまちづくり	41	④ ⑧ ⑪	創造都市推進事業	東アジア文化都市推進室	文化芸術の力を活用した「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市北九州を開催する。同時に東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムへの推進等に取り組む。	2020年東京大会に向けた文化プログラムの認証件数 (累計)	H28年度開始	目標	20 件	20 件	20 件	20件 (R3年度)	継続	435,000	371,900	減額	63,100	大変 順調	東アジア文化都市の会期延長 (~2021年12月末) に伴い、引き続き当該事業を通じて、市民に文化芸術を身近に感じてもらい、創造都市の実現を図る。 また、東京オリンピック・パラリンピックに向けた、文化プログラムの認証件数の増加を目指す。	順調	各事業を通じて、国内外へ「創造都市・北九州」としての都市ブランドを発信し、市民のシビックプライドの醸成につなげる。さらに今後は、感染症対策を十分に行うなど新しい生活様式に対応しながら事業を実施していく。 また、引き続き「文学の街・北九州」を発信するため、地元商店街や大学生と協力して「北九州文学サロン」を拠点とした取り組みを進めていく。
						文化芸術を「身近に感じたことがある」と思っている市民の割合	41.1% (H30年度)	目標	/	51.1 %	51.1 %										
42	④		北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	H27年度	目標	100,000 人	100,000 人	100,000 人	10万人 (毎年度)	継続	65,023	63,580	維持	44,000	順調	来年度も、企画展関連イベントを行う等工夫を行うと同時に、漫画ミュージアムの認知度を上げることで目標達成を目指す。		
							実績	81,502 人													
								達成率	81.5 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
43	⑧ ⑪		映像製作誘致 強化関連事業	文化 企画 課	映画・テレビド ラマ等のロケ地誘 致や撮影支援を積 極的に行い、本市 の知名度と都市イ メージの向上を図 る。 また、活動成果 の市民との共有 や、「映画の街・ 北九州」という都 市ブランドの発信 により、街のにぎ わいの創出や市民 交流等のまちづく りにつなげる。	地域経済への貢 献（直接経済効 果）	100,000 千円 (H21年 度)	目標	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (R1年度 以降毎 年度)				順調	引き続き「新型コ ロナウイ ルス感染 予防対策 ガイドラ イン」を 遵守する 安全な撮 影を積 極的に誘 致し、国 内外で 「映画の 街・北九 州」とい う都市ブ ランドを 維持、発 展させ ることが できるよ う、映像 製作誘致 強化関 連事業に 取り組む。		【指標廃止・追加の理由】 認知度の実績は目標の85% を超えており、一定数の認知 度を得たことから、より具 体的にフィルムコミッション 事業を広めたいと思う市民の 割合を問うもの。		
								実績	91,540 千円											85.0% (R1年度 以降毎 年度)	
								達成率	61.0 %												
43	⑧ ⑪		映像製作誘致 強化関連事業	文化 企画 課	映画・テレビド ラマ等のロケ地誘 致や撮影支援を積 極的に行い、本市 の知名度と都市イ メージの向上を図 る。 また、活動成果 の市民との共有 や、「映画の街・ 北九州」という都 市ブランドの発信 により、街のにぎ わいの創出や市民 交流等のまちづく りにつなげる。	北九州フィ ルム・コミ ッションの 市民への認 知度	59.8% (H25年 度)	目標	85.0 %	85.0 %		85.0% (R1年度 以降毎 年度)	継続	42,224	33,484	減額	47,100	順調	引き続き「新型コ ロナウイ ルス感染 予防対策 ガイドラ イン」を 遵守する 安全な撮 影を積 極的に誘 致し、国 内外で 「映画の 街・北九 州」とい う都市ブ ランドを 維持、発 展させ ることが できるよ う、映像 製作誘致 強化関 連事業に 取り組む。	【指標廃止・追加の理由】 認知度の実績は目標の85% を超えており、一定数の認知 度を得たことから、より具 体的にフィルムコミッション 事業を広めたいと思う市民の 割合を問うもの。	
								実績	89.5 %												
								達成率	105.3 %												
44	④ ⑪		北九州文学サ ロン管理運 営事業	文化 企画 課	女性俳句の草分 けである杉田久 女・橋本多佳子 などのPR・顕彰 に取り組むと ともに、「北九州 文学サロン」を 拠点として、 点在する文学 的素材やさま ざまな文化資 源・文化的 取組みをつ なげる仕組 みづくりを行 う。	「北九州文学サ ロン」の来館 者数	H28年度 開設	目標	14,000 人	14,000 人	14,000 人	14,000 人 (毎 年度)	継続	11,000	10,500	維持	6,400	順調	音楽や絵画など、様々 な文化芸術と文学をつ なぎ、魅力ある企画・ 取組みの実施、情報 発信が必要である。 引き続き、地元商店街 や大学生と連携し、 多くの人が気軽に文 学に接する機会を提 供し、来館者の増加 につながる取組みを 進めていく。		
								実績	15,057 人												
								達成率	107.6 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
45	⑧ ⑪		松永文庫企画 事業	文化 企画 課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	年間来館者数	89,317 人 (H26年 度)	目標	10 万人	10 万人	10 万人	10万人 (毎年 度)	継続	9,600	9,600	維持	4,900	順調	新しい生活様式に則した感染予防対策を行いながら、安全に配慮した企画展を行う。 また、YoutubeなどSNSを活用した情報発信に力を入れることで松永文庫の認知度を高め、集客数の増員を目指し、より一層の「映画の街・北九州」のブランド発信に取り組む。
								実績	8.1 万人										
								達成率	81.0 %										
46	④		松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187 人 (H22年 度)	目標	前年度 (42,502人) 比増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	14,342	11,788	減額	23,250	順調	魅力ある企画展・講演会を実施し、市民をはじめ、より多くの人に清張の作品や人となりに触れる機会を提供することで集客を図るとともに、「文学の街・北九州市」を市内外に発信する。 また、Wi-Fi環境を整備し、多言語の展示解説を来館者個人のスマートフォンで閲覧できるよう移行し、コロナ対策を含めたサービスを提供する。
								実績	47,828 人										
								達成率	112.5 %										
						企画展入場者の満足度	85% (H22年 度)	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年 度)							
								実績	86.4 %										
								達成率	96.0 %										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
47	④ ⑧ ⑪		北九州市東田 地区ミュージ アムパーク創 造事業	文化 企画 課	東田地区にお いて、いのちのた び博物館を中核に 環境ミュージアム や周辺商業施設 等と連携した企 画展の開催や、 周遊ツアーの企 画、地区内施設 の多言語化等、 文化観光の推 進を図る。	東田地区にお ける文化関連施 設3館の来館者 数の増加率 (対H29年度 比) ※指標廃止	約73万 人 (H29年 度)	目標	5 % 増	10 % 増	10%増 (R2年 度)	継続	26,800	20,000	減額	9,800	順調			
							実績	13 % 減												
							達成率	—												
						東田地区の来訪 者数（観光客 数） ※指標追加	72.7万 人 (H30年 度)	目標			72 万 人									200万人 (R6年 度)
							実績													
							達成率													
						東田地区の外国 人来訪者数（観 光客数） ※指標追加	約7千人 (R1年 度)	目標			4,000 人									10,500 人 (R6年 度)
							実績													
							達成率													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
Ⅲ-2-(3)-① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	48	③ ④	市民体育祭	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭選手参加者数	30,367人 (H26年度)	目標	21,000 人	21,000 人	21,000 人	21,000人 (R1年度以降毎年度)	継続	5,245	3,574	減額	4,650	大変 順調	総合開会式のあり方を検討。 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、各競技大会の安全な開催を目指す。
								実績	30,139 人										
								達成率	143.5 %										
	49	③ ④	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催。	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12,371人 (H26年度)	目標	15,000 人	15,000 人	15,000 人	15,000人 (R1年度以降毎年度)	継続	18,066	16,602	減額	990	順調	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、各区におけるスポーツ教室、体験会などのPR、開催方法の工夫を行い、さらなる参加者の増加を図る。
								実績	14,931 人										
								達成率	99.5 %										
	50	③ ④	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (H22年度)	目標	3,600 人	4,000 人	4,000 人	4,000人 (R4年度)	継続	3,022	2,600	減額	2,325	やや 遅れ	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、総合型地域スポーツクラブのPR強化及び交流事業等の安全な開催を行う。
								実績	2,074 人										
								達成率	57.6 %										
	51	③ ④ ⑪	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	トップアスリート等の活用により、オリンピック選手など国際・全国大会で活躍する、次世代を担うトップアスリートを育成するとともに、スポーツに対する意欲を醸成する。	選手強化事業参加者数	210人 (H26年度)	目標	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000人 (毎年度)	継続	9,000	9,000	維持	6,305	大変 順調	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、対象種目を増やして参加者数の増加を図る。
								実績	1,547 人										
								達成率	154.7 %										
教室・強化講習会等の実施						5種目 (H26年度)	目標	5種目以上	11 種目	11 種目	11種目以上 (毎年度)								
							実績	10 種目											
							達成率	200.0 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
Ⅲ-2-(3)-② スポーツを通じたにぎわいづくり	52	③ ④ ⑧ ⑪	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	・コース：北九州 市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数 マラソン：11,000名、ペアリレーマラソン：150組300名、ファンラン（3km又は5km）：1,000名	マラソン大会開催による経済波及効果	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	11.5億 円 (R4年度 までに)	継続	82,543	88,543	増額	39,500	順調	順調	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等により市民全体の機運を高め、スポーツの振興はもとより、まちのにぎわいづくりを図る。 また、ミクニワールドスタジアム北九州を活用するなど、「みる」スポーツの更なる振興を図っていく。
							実績	—											
							達成率	—											
						インターネットでのマラソン大会全国評価ランキング（参加者7,000人以上の大会を対象）	目標	1 位	1 位	1 位	1位 (R3年 度)								
							実績	2 位											
							達成率	—											
	ボランティアリーダー登録者数	目標	20 人	30 人	30 人	50人 (R4年 度)													
		実績	23 人																
		達成率	115.0 %																
	53	③ ④ ⑪	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	国際・全国大会等の開催数	目標	29 回	30 回	30 回	30回 (毎年 度)	継続	4,500	4,500	維持	2,615	順調	順調	市民の「みる」スポーツの機会創出のため、スポーツ大会開催補助の効率的な執行に努める。 また、歴史ある門司港レトロマラソンを継続的に実施していく。
							実績	35 回											
							達成率	120.7 %											
門司港レトロマラソンの参加人数						目標	3,000 人	3,000 人	3,000 人	定員 3,000人 (毎年 度)									
						実績	3,187 人												
						達成率	106.2 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)									
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標								
54	③ ④ ⑪		ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	目標	90 %	90 %	90 %	90% (毎年度)	継続	35,000	40,000	増額	3,075	順調	新型コロナウイルス感染症に伴うクラブ運営への様々な影響を考慮し、臨時的に増額して補助することで本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援する。									
							実績	85.8 %																				
							達成率	95.3 %																				
						ギラヴァンツ北九州主催試合の平均入場者数	3,622人 (H26年度)	目標	7,000 人	7,000 人	7,000 人	7,000人 (毎年度)									継続	35,000	40,000	増額	3,075	順調	新型コロナウイルス感染症に伴うクラブ運営への様々な影響を考慮し、臨時的に増額して補助することで本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援する。	
							実績	6,049 人																				
							達成率	86.4 %																				
スポーツ観戦率	23% (H26年度)	目標	40 %	40 %	40 %	40% (R4年度)	継続	68,450	68,000	維持	6,575	順調	市民観戦や体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。															
	実績	28 %																										
	達成率	70.0 %																										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
56	③ ④		大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	国際スポーツ大会推進室 世界体操・新体操選手権推進室	生涯スポーツの振興やまちの賑わい創りに繋がる大規模国際スポーツ大会の試合会場、及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へと繋げることを目的として、誘致プロモーションの展開や官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行う。	ラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるキャンプ地誘致数	12	競技	1ヶ国又は1競技以上 (R3年度)	継続	179,500	1,112,000	増額	79,750	大変 順調	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ誘致・実施の継続とともに、その他各種国際スポーツ大会の誘致についても引き続き実施していく。				
					国際スポーツ大会等の開催	4件 (H27年度)	3	件	3										件	3
57	③ ⑦ ⑧ ⑪		北九州スタジアム維持管理事業	スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実 (グラウンドの年間利用日数)	100	日	100	日	100	日	100日 (毎年度)	継続	104,251	104,251	維持	2,750	順調	施設の適切な維持管理や指定管理者の自主事業などにより、「みるスポーツ」の充実やスポーツによるまちのにぎわいにつなげる。
121	日	121.0	%																	



【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
Ⅲ-3- (1)-① 市民主体の地域づくりの促進	58	⑪ ⑰	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまで市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体 (H26年度)	目標 134 団体	実績 133 団体	達成率 99.3 %				3,825	順調	住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や各種地域団体に対する地域総括補助金の交付を行う。 令和3年度は、まちづくり協議会の活動財源の減少を補うため、地域総括補助金のうち「校区まちづくり支援事業」補助の拡充を行う。			
	59	⑪ ⑰	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会を中心としたネットワークを構築し、まちづくり協議会が相互に情報を共有し交流できる場を設けるなど、住民主体の地域づくりを進める。	地域カルテフォーアップ事業を実施したまちづくり協議会の数	—	目標 1 団体	実績 1 団体	達成率 100.0 %				3,575	順調	まちづくり協議会等の地域団体に地域の課題解決に主体的に取り組んで頂くため、まちづくり専門家派遣制度の活用など、地域の実情やニーズに応じた支援を行う。また、まちづくり協議会等の地域団体と連携して市民センターを中心とした地域づくりに取り組む。	順調	引き続き、地域が一体となった市民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、「地域総括補助金」の交付や、各種支援事業などの地域のニーズに応じた施策を展開する。	
					地域づくり活動への参加者の割合	39.6% (H29年度)	目標 46 %	実績 42.1 %	達成率 91.5 %										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度		R2年度										R3年度		中期 目標		
Ⅲ-3-(1)-② 地域コミュニティ施設活用・運営	60	⑪ ⑰	市民センターの維持管理	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。 また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民（サブ）センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行う。	市民センター1館当たりの利用者数	32千人 (R1年度)	目標	42	千人	42	千人	42	千人	42千人 (毎年度)	継続	2,620,222	2,497,682	維持	46,250	順調	市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、老朽化対策やバリアフリー化等ハード面を整備するとともに、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報発信等ソフト面の充実にも努めていく。	順調	引き続き、市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、市民センターの老朽化対策やバリアフリー化等のハード面の整備を進めていく。 また、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修やタイムリーな情報発信等のソフト面の充実にも努めていき、利用者の増加を図っていく。
								実績	32	千人														
								達成率	76.2	%														
						市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数（延べ）	2,084千人 (H27年度)	目標	2,200	千人	2,200	千人	2,200	千人	2,200千人 (毎年度)									
								実績	1,800	千人														
								達成率	81.8	%														
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町内会への加入促進	61	⑪ ⑰	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組む、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	81.0% (H29年度)	目標	85	%	85	%	85	%	85% (毎年度)	継続	28,464	27,570	維持	4,095	順調	ポータルサイトを活用した自治会活動の重要性や活動内容のPR強化及び各自治会における加入促進・脱会防止の事例等について情報共有を図るとともに、マンション等の共同住宅の自治会加入について、自治会と連携して働きかけを強化する。 また「自治会活動応援事業者表彰事業」や「若い世代を対象にした自治会加入促進事業」を行うとともに、新たに「PR支援」「活動支援」「減量支援（ITの活用）」の3つの視点で活動を支援するなど、加入率向上、自治会・町内会の活性化を図る。さらに、教育委員会と連携して、令和2年度に作成した冊子・DVDを活用して、市内小学3・4年生の社会科の授業で、自治会の活動やその意義について理解を深めてもらう。	順調	自治会・町内会を取り巻く課題を解決し活性化を促進するために、マンション等の管理会社等の関係者に積極的に働きかけていくほか、引き続き地域コミュニティの重要性や自治会の必要性について幅広く理解を求めるところに力を入れていく。 また、地域でリーダーシップを発揮する人材や地域活動の担い手育成支援を積極的にを行い、自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。
								実績	81.4	%														
								達成率	95.8	%														
						地域づくり活動への参加者の割合	39.6% (H29年度)	目標	46	%	46	%	46	%	46% (毎年度)									
								実績	42.1	%														
								達成率	91.5	%														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標				
Ⅲ-3-(2)-① NPO・ボラン ティア活動の 支援	62	④ ⑰	NPO・市民活 動促進事業	市民活動 推進課	市民活動の促進 に加え、NPOと行政 の協働を推進する ため、活動や協働 等に関する相談・ 助言、情報提供、 研修・啓発等を実 施する。	新規設立NPO法 人数（累計） ※指標廃止	目標	120 法人	135 法人		135法人 (R2年 度)	縮小	20,176	17,709	減額	19,725	順調	予算については人件費の削 減により減額となったが、市 民活動の裾野を広げるため、 市民に対し活動のきっかけづ くりとなるセミナー、講演会 を引き続き実施するととも に、地域に支えられるNPOを 育成するため、研修等の充実 を図る。	順調	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
							実績	116 法人																
							達成率	96.7 %																
						新規設立NPO法 人数 ※指標追加	目標			15 法人	15法人 (毎年 度)													
							実績																	
							達成率																	
	サポートセン ター利用者数 ※中期目標改訂	目標	25,000 人	25,000 人	20,000 人	20,000 人 (毎年 度)																		
		実績	29,293 人																					
		達成率	117.2 %																					
	63	④	NPO公益活動 支援事業	市民活動 推進課	市民活動の更なる 促進を支援する ため、NPO等が専門 性を発揮して行う 活動に対し、事業 費の一部を補助す る。	補助交付事業件 数（累計） ※中期目標改訂	目標	110 件	120 件	130 件	150件 (R5年 度)	継続	2,712	2,702	維持	3,275					順調	市民ニーズが複雑化、多様 化する中、専門性や先駆性を 発揮して地域課題の解決等に 取り組むNPOに対して、引き 続き資金的な支援を行い、市 民活動の促進を図る。	順調	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							実績	109 件																
							達成率	99.1 %																
成果発表会の参 加人数（累計） ※中期目標改訂						目標	480 人	530 人	580 人	680人 (R5年 度)														
						実績	431 人																	
						達成率	89.8 %																	

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
Ⅲ-3-(2)-② NPO・企業、 研究などの連携の構築	64	⑪	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	4件 (R1年度)	目標 5 件 実績 4 件 達成率 80.0 %	5 件	5 件	5 件	5件 (毎年度)	継続	1,570	3,170	増額	2,470	順調	NPO体験交流会を通して市民のNPO活動への共感醸成を促すとともに、市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供し、団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調	多様な主体による協働を推進するため、NPO、企業等との交流会を引き続き実施し、団体間の協働を支援する。
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	65	④ ⑪	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計） ※中期目標改訂	2,146人 (R1年度)	目標 1,750 人 実績 2,146 人 達成率 122.6 %	2,000 人	2,250 人	2,750人 (R5年度)	継続	1,291	1,231	維持	6,400	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーの充実に努める。  【中期目標の変更内容】 中期目標をR2年度に設定していたため、達成目標年度と数値を修正した。  【指標廃止・追加の理由】 「収入増加団体数」については、団体へ専門家を派遣する目的が、団体の収入増加に限らず、事務の改善など幅広い内容を含めたものであるため、今回見直しを行い廃止し、新たに「運営改善団体数」として追加した。	順調	協働への理解を深めるセミナーやNPOと様々な団体の交流会の開催等、各団体間の自主的な協働の側面支援に引き続き取り組んでいく。	
						収入増加団体数（累計） ※指標廃止	11団体 (H29年度)	目標 14 団体 実績 15 団体 達成率 107.1 %	16 団体	16団体 (R2年度)	継続	1,291	1,231	維持	6,400	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーの充実に努める。  【中期目標の変更内容】 中期目標をR2年度に設定していたため、達成目標年度と数値を修正した。  【指標廃止・追加の理由】 「収入増加団体数」については、団体へ専門家を派遣する目的が、団体の収入増加に限らず、事務の改善など幅広い内容を含めたものであるため、今回見直しを行い廃止し、新たに「運営改善団体数」として追加した。	順調	協働への理解を深めるセミナーやNPOと様々な団体の交流会の開催等、各団体間の自主的な協働の側面支援に引き続き取り組んでいく。		
						運営改善団体数（累計） ※指標追加	3団体 (R1年度)	目標 9 団体 実績 15 団体 達成率 166.7 %	9 団体	15団体 (R5年度)	継続	1,291	1,231	維持	6,400	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーの充実に努める。  【中期目標の変更内容】 中期目標をR2年度に設定していたため、達成目標年度と数値を修正した。  【指標廃止・追加の理由】 「収入増加団体数」については、団体へ専門家を派遣する目的が、団体の収入増加に限らず、事務の改善など幅広い内容を含めたものであるため、今回見直しを行い廃止し、新たに「運営改善団体数」として追加した。	順調	協働への理解を深めるセミナーやNPOと様々な団体の交流会の開催等、各団体間の自主的な協働の側面支援に引き続き取り組んでいく。		
66	⑪	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	4件 (R1年度)	目標 5 件 実績 4 件 達成率 80.0 %	5 件	5 件	5 件	5件 (毎年度)	継続	1,570	3,170	増額	2,470	順調	NPO体験交流会を通して市民のNPO活動への共感醸成を促すとともに、市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供し、団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調	多様な主体による協働を推進するため、NPO、企業等との交流会を引き続き実施し、団体間の協働を支援する。	

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進 できる市役所づくり	67	④ ⑰	NPO・市民活 動促進事業	市民 活動 推進 課	市民活動の促進 に加え、NPOと行政 の協働を推進する ため、活動や協働 等に関する相談・ 助言、情報提供、 研修・啓発等を実 施する。	新規設立NPO法 人数（累計） ※指標廃止	目標	120 法人	135 法人		135法人 (R2年 度)	縮小	20,176	17,709	減額	19,725	順調	予算については人件費の削 減により減額となったが、市 民活動の裾野を広げるため、 市民に対し活動のきっかけづ くりとなるセミナー、講演会 を引き続き実施するととも に、地域に支えられるNPOを 育成するため、研修等の充実 を図る。  【中期目標の変更内容】 サポートセンター利用者数 については、新型コロナウイ ルス感染症の影響によるフ リースペースの利用停止等の 状況を踏まえ、目標数値を縮 小する。  【指標廃止・追加の理由】 新規設立NPO法人数につい ては、指標の記載方法を累計 から毎年度に変更する。	順調	市民との協働を推進するた め、協働意識向上のための研 修、セミナー等の充実、 NPO・市民活動に関する情報 提供に取り組む。
							実績	116 法人												
							達成率	96.7 %												
						新規設立NPO法 人数 ※指標追加	目標			15 法人	15法人 (毎年 度)									
							実績													
							達成率													
サポートセン ター利用者数 ※中期目標改訂	目標	25,000 人	25,000 人	20,000 人	20,000 人 (毎年 度)															
	実績	29,293 人																		
	達成率	117.2 %																		
Ⅲ-3-(3)-④ 「NPOとの協 働によるまち づくり」人材 育成事業	68	④ ⑰	「NPOとの協 働によるまち づくり」人材 育成事業	市民 活動 推進 課	協働に関する理 解を深めるための 研修、協働事業を 実施するために必 要な団体運営力向 上を図るための研 修を実施する。 また、経済的に 自立したNPOの増 加を図るため、資 金調達力や企画力 の向上を図るセ ミナーを実施する。	NPOとの協働に ついての研修へ の参加者数（累 計） ※中期目標改訂	目標	1,750 人	2,000 人	2,250 人	2,750人 (R5年 度)	継続	1,291	1,231	維持	6,400	順調	協働を促進するため、協働 意識向上のための研修、NPO の人材育成や運営力向上に資 するセミナーの充実を努め る。  【中期目標の変更内容】 中期目標をR2年度に設定し ていたため、達成目標年度と 数値を修正した。  【指標廃止・追加の理由】 「収入増加団体数」につい ては、団体へ専門家を派遣す る目的が、団体の収入増加に限 らず、事務の改善など幅広い 内容を含めたものであるた め、今回見直しを行い廃止 し、新たに「運営改善団体 数」として追加した。	順調	
							実績	2,146 人												
							達成率	122.6 %												
						収入増加団体数 (累計) ※指標廃止	目標	14 団体	16 団体		16団体 (R2年 度)									
							実績	15 団体												
							達成率	107.1 %												
運営改善団体数 (累計) ※指標追加	目標			9 団体	15団体 (R5年 度)															
	実績																			
	達成率																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
IV-4-(1)-② 偉人・先人の 顕彰	69	④	文学館普及研 究費	文学 館	北九州市ゆかり の文学者の業績を 企画展等で紹介す るとともに、本市 の文芸の振興に功 績のあった文学者 を市内外に発信す る。	入館者数	10,741 人(H23 年度)	目標	7,500 人	30,000 人	30,000 人	30,000 人 (R3年 度)	継続	26,821	18,671	減額	30,950	大変 順調	リニューアルした常設展示 やより多くの市民が興味を持 つ企画展の開催により、若年 層などの入館者の増加を図 り、市民が文学に接する機会 を提供していく。	
								実績	20,896 人											
								達成率	278.6 %											
	70	④	松本清張記念 館研究セン ター・普及事 業	松本清張記念館 事務	松本清張に関す るあらゆる資料を 収集・整理し、松 本清張の「人と作 品」を研究する調 査研究・資料収集 事業の実施や研究 誌を発行する。ま た、松本清張研究 者に奨励金を贈呈 する研究奨励事業 を実施する。 さらに、企画展 の開催や講演会、 読書感想文コン クールなどの市民 文芸活動支援事業 を行う。	松本清張記念館 の入館者数	58,187 人(H22年 度)	目標	前年度 (42,502人) 比増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年度)	継続	14,342	11,788	減額	23,250	順調	魅力ある企画展・講演会を 実施し、市民をはじめ、より 多くの人に清張の作品や人と なりに触れる機会を提供する ことで集客を図るとともに、 「文学の街・北九州市」を市 内外に発信する。 また、Wi-Fi環境を整備 し、多言語の展示解説を来館 者個人のスマートフォンで閲 覧できるよう移行し、コロナ 対策を含めたサービスを提供 する。	順調
								実績	47,828 人											
								達成率	112.5 %											
企画展入場者の 満足度						85% (H22年 度)	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	継続	14,342	11,788	減額	23,250	順調	魅力ある企画展・講演会を 実施し、市民をはじめ、より 多くの人に清張の作品や人と なりに触れる機会を提供する ことで集客を図るとともに、 「文学の街・北九州市」を市 内外に発信する。 また、Wi-Fi環境を整備 し、多言語の展示解説を来館 者個人のスマートフォンで閲 覧できるよう移行し、コロナ 対策を含めたサービスを提供 する。	順調	
							実績	86.4 %												
							達成率	96.0 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標			
IV-4- (2)-③ 都市イ メージ の向上	71	⑧ ⑪	映像製作誘致 強化関連事業	文化 企画 課	<p>映画・テレビド ラマ等のロケ地誘 致や撮影支援を積 極的に行い、本市 の知名度と都市イ メージの向上を図 る。 また、活動成果 の市民との共有 や、「映画の街・ 北九州」という都 市ブランドの発信 により、街のにぎ わいの創出や市民 交流等のまちづく りにつなげる。</p>	地域経済への貢 献（直接経済効 果）	100,000 千円 (H21年 度)	目標	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (R1年度 以降毎 年度)											
							実績	91,540 千円															
							達成率	61.0 %															
						北九州フィル ム・コミッショ ンの市民への認 知度 ※指標廃止	59.8% (H25年 度)	目標	85.0 %	85.0 %		85.0% (R1年度 以降毎 年度)	継続	42,224	33,484	減額	47,100	順調	引き続き「新型コロナウイ ルス感染予防対策ガイドライ ン」を遵守する安全な撮影を 積極的に誘致し、国内外で 「映画の街・北九州」という 都市ブランドを維持、発展さ せることができるよう、映像 製作誘致強化関連事業に取り 組む。  【指標廃止・追加の理由】 認知度の実績は目標の85% を超えており、一定数の認知 度を得たことから、より具体 的にフィルムコミッション事 業を広めたいと思う市民の割 合を問うもの。	順調	新型コロナウイルス感染症 の拡大防止対策を行った上 で、引き続きアジアを中心と する映画作品の誘致などに積 極的に取り組み、「映画の 街・北九州」という都市ブラ ンドを国内外に広く発信して いく。		
							実績	89.5 %															
							達成率	105.3 %															
						都市ブランド 「映画の街・北 九州」を広めたい と思う市民の 割合 ※指標追加	—	目標			17.0 %	17.0% (R3年度 以降毎 年度)											
							実績	—															
							達成率																